

5年度 特別会計決算

議案
第66号 ▶ 認定

国民健康保険

問 被保険者が400名ほど減ったということだが、歳出総額は増加となっているとの説明があった。被保険者が減少しているのに歳出総額が増加となっている要因は何か。

答 5年度末の被保険者数は、4年度末と比較すると、421名減少している。しかし、一人当たりの医療費が、4年度と比較すると、14%程度増加している。そのため費用全体は増加している。

問 特定健康診査は市外の医療機関でも受診可能となっているが、どのくらいの人数が市外の医療機関で受診しているのか。また、対象となる医療機関を増やす考えはあるか。

答 市外では、蓮田市、久喜市、宮代町の医療機関で受診することができる。全体の受診者は2,359名だが、このうち237名が市外で受診している。現在は、南埼玉郡市医師会と単価契約を結んで実施している。医療機関を増やすということは、他の医師会と単価契約を結ぶこととなるため、実質的には難しい。

問 外国人の国民健康保険への加入状況と、保険税の滞納状況はどのようなものか。

答 外国人の加入者は135名で、滞納の状況は、把握していない。



議案
第67号 ▶ 認定

後期高齢者医療

問 印刷製本費は何に対し、支出したもののか。

答 主なものは、保険料納付通知書の作成費用である。

反対討論

県後期高齢者医療広域連合は、3年度の保険料改定で特別軽減制度を改悪し、後期高齢者の保険料は年々引き上げられた。さらに消費税の引き上げも行われた中で、保険料の引き上げは高齢者の生活を脅かし、一層苦しいものにしている。

議案
第68号 ▶ 認定

介護保険

問 シニア元気アップ教室は、希望者全員が参加できるのか。

答 定員により、参加できないかたも数人程度いる。

反対討論

介護保険制度は、高齢者に対する介護サービスを一体的、効率的に提供し、社会全体で支える制度として平成12年4月から実施されてきた。しかし、高い保険料と利用料を負担できず、制度があっても利用できない人がいる。また、度重なる制度改悪が行われた。



《5年度 特別会計決算》

※千円未満四捨五入

議案	区分	歳入	歳出	差引額
第66号	国民健康保険	47億5168万7千円	46億3008万6千円	1億2160万1千円
第67号	後期高齢者医療	7億9064万9千円	7億8663万7千円	401万2千円
第68号	介護保険	40億7159万7千円	38億8767万7千円	1億8392万円
第69号	白岡駅東部中央土地区画整理事業	3億572万6千円	2億7852万4千円	2720万2千円

《5年度 公営企業会計決算》

※千円未満四捨五入

議案	区分	収益的收入	収益的支出	経常利益	当年度末処分利益剰余金
第70号	水道事業	10億7567万円	9億2084万7千円	1億5482万3千円	3億1079万2千円
第71号	公共下水道事業	9億1080万4千円	8億8514万4千円	2566万円	5101万6千円
第72号	農業集落排水事業	8094万5千円	8023万7千円	70万7千円	141万4千円

(編集・レイアウト担当 細井・中山)